

2020年8月7日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 米田 久美子

インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ5）
（協力準備調査（有償））
スコーピング案に対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2020年7月31日（金）14:00～17:44
- ・場所：JICA 本部（1階 111 会議室）および Skype 会議
- ・ワーキンググループ委員：木口委員、源氏田委員、田辺委員、米田委員
- ・議題：インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ5）（協力準備調査（有償））に係るスコーピング案についての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 【事前配布】インド国北東州道路網連結性改善事業（フェーズ5）協力準備調査 SC 案
 - 2) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第115回委員会）

- ・日時：2020年8月7日（金）14:00～16:50
- ・場所：JICA 本部（1階 113 会議室）および Skype 会議

上記の会合にて助言を確定した。

助言

代替案の検討

1. 代替案の環境に関する比較では、全ての案について環境汚染および自然環境への影響の両方の観点から比較し、DFRに記載すること。
2. 代替案検討を行った区間の選定にあたって、非自発的住民移転の回避・最小化が図られているかどうかをDFRに記載すること。
3. 事業を実施する案と実施しない案との比較において、事業を実施する案についても環境への正負の影響を検討し、DFRに記載すること。
4. 事業地周辺の雨季の農地の表流水の変化による影響を確認し、影響がある場合は、環境管理計画・モニタリング計画において、緩和策およびモニタリングの実施にかかる計画を検討すること。

環境配慮

5. Gumti WLS と Nokrek National Park などの事業地に近接する保護区および森林について、野生動植物やその生息地に対する本事業の影響に関して丁寧な調査を行い、結果をDFRに記載すること。
6. 伝統的な宗教の信仰に基づき保護されている共有林「聖なる森 (Sacred Forest)」については、できる限り避ける線形にする等の配慮を行うこと。

社会配慮

7. これまでのフェーズにおける苦情処理メカニズムの運用状況（苦情内容や対処方法の適切性等）を確認し、DFRに記載すること。

ステークホルダー協議・情報公開

8. COVID-19により大規模集会の開催が困難になっている中、感染防止対策を適切に講じつつ必要に応じて、少人数での会合の方式を採用することや、新聞広告、広報誌、住民グループへの回覧等で周知徹底を行った上で相談窓口を設置すること等により、意見表明を希望する人の参加機会の確保を検討すること。併せてステークホルダー協議に十分な時間を確保できるよう配慮すること。
9. 事業に関する十分な情報が指定部族を含む被影響住民に対して提供されるよう、できる限り詳細な資料の提供を検討すること。
10. 女性は男性より識字率が低い傾向がみられることから、これまでの関連事業の経験を踏まえ、かつ、わかりやすい言葉で丁寧に説明を行うなど、COVID-19の影響がある現状下で、可能な限りの配慮を検討し、講じた対策についてDFRに記載すること。

以上